

東北地方 3か月予報

(5月から7月までの天候見通し)

平成18年4月25日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。
この期間の平均気温は平年並、降水量は平年並でしょう。

5月 寒気やオホーツク海高気圧の影響で、東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。なお、晴れた朝はおそ霜のおりるおそれもあります。

気温は平年並か低い、降水量は平年並でしょう。

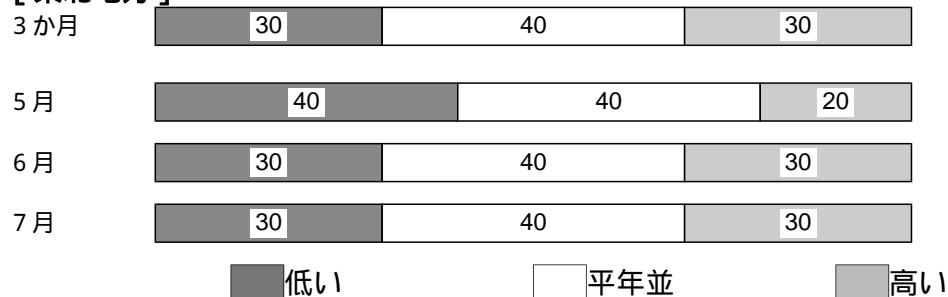
6月 前線やオホーツク海高気圧の影響で、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
気温は平年並、降水量は平年並でしょう。

7月 前線や低気圧の影響で、東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。
気温は平年並、降水量は平年並が多いでしょう。

<向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)>

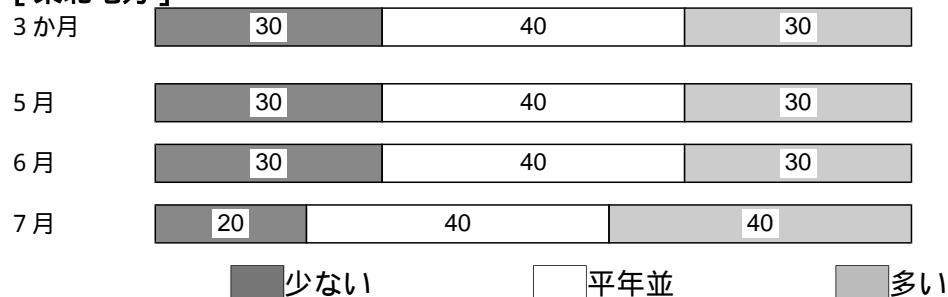
<<気温>>

[東北地方]



<<降水量>>

[東北地方]



<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は4月28日

3か月予報：5月25日（木）14時

なお、最近の天候経過と新しい予測資料をふまえ暖候期の天候について検討しましたが、2月23日に発表した暖候期予報の内容に変更はありません。

＜参考資料（平年並の範囲等）＞

（1）平年値（月・3か月平均気温、降水量）

	気温()				降水量(mm)			
	5月	6月	7月	5月～7月	5月	6月	7月	5月～7月
大船渡	13.6	17.3	21.0	17.3	149.8	171.5	170.3	485.6
新庄	14.2	18.7	22.3	18.4	106.6	131.0	185.6	423.3
若松	15.5	19.8	23.4	19.6	80.5	115.7	160.1	356.3
深浦	13.0	17.2	21.3	17.2	108.8	109.4	146.0	363.4
青森	13.1	17.0	21.1	17.1	78.8	82.2	102.6	263.6
むつ	12.1	15.6	19.6	15.8	92.3	109.0	122.8	324.0
八戸	13.1	16.1	20.2	16.5	84.7	99.2	117.1	301.0
秋田	14.2	18.8	22.8	18.6	122.8	127.5	178.1	428.4
盛岡	13.8	18.2	21.8	17.9	103.3	114.9	165.7	384.0
宮古	13.1	16.0	20.0	16.3	98.4	117.3	139.2	354.8
酒田	14.9	19.3	23.2	19.1	116.8	128.1	186.1	430.9
山形	15.4	19.5	23.2	19.4	81.3	102.6	143.9	327.8
仙台	14.9	18.3	22.1	18.4	107.9	137.9	159.7	405.5
石巻	14.0	17.7	21.3	17.6	98.2	111.6	131.0	340.9
福島	16.5	19.9	23.5	20.0	87.5	118.1	144.8	350.4
白河	14.8	18.4	22.0	18.4	120.0	167.6	186.8	474.4
小名浜	15.1	18.3	21.7	18.3	147.0	149.8	120.5	417.3

欠測により平年値を求めるための資料年数（観測値のある年数）が各月毎に異なることなどにより、3か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

（2）1971～2000年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要素	予報対象地域	5月	6月	7月	5月～7月
気温平年差()	東北地方	-0.3～+0.4	-0.6～+0.2	-0.1～+0.6	-0.3～+0.2
	東北日本海側	-0.3～+0.4	-0.5～+0.2	-0.2～+0.4	-0.3～+0.3
	東北太平洋側	-0.3～+0.4	-0.5～+0.2	-0.3～+0.8	-0.3～+0.3
降水量平年比(%)	東北地方	86～115	82～118	89～117	96～113
	東北日本海側	84～110	71～105	83～123	97～109
	東北太平洋側	82～111	88～111	85～114	91～106

（3）梅雨時期前後における各地の平年の気象経過

旬降水量 平年値 (mm)	5月			6月			7月			8月		
	上旬	中旬	下旬									
大船渡	50.0	55.9	43.9	50.9	60.7	57.6	63.0	69.1	38.2	50.3	56.9	91.5
新庄	40.5	35.8	30.4	25.7	45.3	60.0	64.4	78.1	43.1	60.5	45.3	68.6
若松	27.5	29.3	23.7	20.3	33.7	61.7	56.1	60.5	43.5	47.2	39.1	44.8
深浦	41.3	33.5	34.0	29.4	44.4	33.6	54.4	43.2	48.3	53.8	38.6	65.0
青森	30.0	22.6	26.2	23.6	30.9	27.8	36.8	27.7	38.2	43.2	33.8	52.3
むつ	35.8	27.6	28.8	36.3	36.8	35.8	48.1	39.4	35.3	43.2	32.8	64.4
八戸	26.1	28.6	30.1	26.6	38.1	34.5	48.3	31.7	37.1	37.3	38.2	61.7
秋田	46.5	40.2	36.2	29.7	50.6	47.2	71.5	61.5	45.1	56.8	51.5	73.6
盛岡	38.6	32.7	32.0	30.8	43.3	40.8	56.8	58.2	50.7	58.6	43.7	75.5
宮古	31.9	35.5	31.0	29.5	43.7	44.1	53.8	46.4	39.0	49.5	50.0	81.3
酒田	44.7	37.7	34.4	24.9	46.4	56.7	70.1	70.7	45.3	57.4	40.0	78.4
山形	27.0	30.3	24.0	24.4	28.2	50.0	44.5	56.2	43.2	50.1	36.3	62.4
石巻	33.3	37.6	27.3	27.2	31.9	52.6	46.1	52.1	32.9	36.1	33.3	57.6
福島	25.9	35.8	25.8	25.4	31.4	61.4	46.5	53.6	44.8	45.7	36.5	62.2
白河	40.4	41.3	38.2	40.1	55.5	72.0	65.0	69.4	52.4	65.8	62.8	99.7
小名浜	48.3	60.3	38.5	35.3	47.4	67.1	49.5	46.3	24.7	46.3	33.5	61.9

旬日照時間 平年値 (h)	5月			6月			7月			8月		
	上旬	中旬	下旬									
大船渡	61.1	61.1	74.1	59.0	50.1	39.1	45.3	41.9	63.0	59.3	51.4	50.9
新庄	55.7	56.8	67.6	59.7	53.2	39.9	40.8	45.3	68.4	60.6	61.3	55.6
若松	62.8	60.1	74.9	63.9	53.9	40.1	46.8	45.6	76.6	67.8	66.4	65.3
深浦	58.4	63.9	75.1	64.5	58.6	56.6	52.7	56.1	68.9	63.3	61.8	60.8
青森	64.7	68.3	77.5	64.0	59.6	57.1	53.8	56.3	67.2	67.0	60.8	63.1
むつ	64.9	65.4	77.5	61.2	52.8	48.7	47.3	45.8	58.0	57.6	46.5	48.9
八戸	65.6	64.9	77.1	61.9	56.5	50.5	51.0	51.5	66.6	62.8	56.3	54.3
秋田	56.9	61.2	73.2	65.6	59.5	53.1	49.3	52.8	69.5	65.5	68.0	66.9
盛岡	61.3	61.7	71.9	57.8	51.3	42.6	42.2	42.0	59.1	56.4	52.9	49.6
宮古	61.6	59.4	70.8	55.3	45.3	39.8	44.9	40.8	63.9	57.7	54.7	53.0
酒田	60.5	62.3	76.6	66.2	60.0	49.7	46.5	53.4	80.0	71.0	72.3	68.3
山形	62.9	62.0	76.9	62.2	52.3	39.3	42.7	43.2	70.0	61.9	61.8	61.0
石巻	65.1	63.8	77.6	59.5	48.6	37.6	42.6	44.5	62.4	62.7	57.9	57.6
福島	64.1	59.7	74.2	54.6	43.6	32.0	37.8	37.1	58.8	57.7	51.5	50.6
白河	59.9	59.1	69.5	51.9	41.4	28.9	35.9	35.5	58.9	54.1	50.3	49.7
小名浜	62.7	62.4	74.5	58.5	44.9	35.2	42.1	41.9	69.4	66.0	65.0	63.0

(4) 接近する台風の平年値

	5月	6月	7月
東北地方	0.0	0.1	0.3

<参考資料(利用上の注意)>

- (1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。
- (2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。
- (3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 3か月予報解説資料 (5~7月)

平成18年4月25日 仙台管区気象台

1. 数値予報（アンサンブル予報）による大気の流れの予想

3か月平均の500hPa高度と偏差の予想図（右図）：

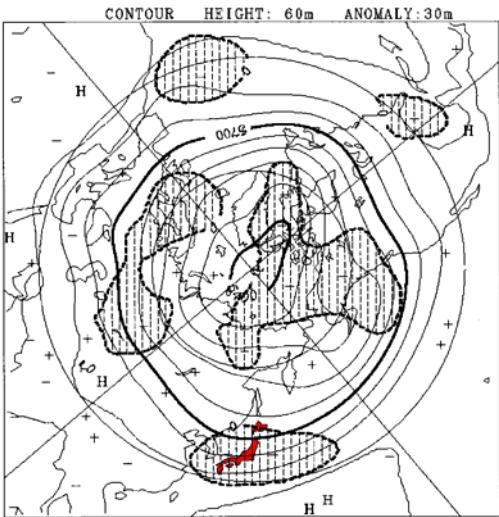
予想図では極付近は負偏差域（寒気に対応）、中緯度帶は正偏差（暖気に対応）だが、日本付近には弱い負偏差が見られる。オホーツク海付近の等高度線はやや間隔が広く偏西風の分流がみられ、一時的にオホーツク海高気圧の影響を受ける見込み。

月別の地上気圧と偏差の予想図（下図。なお、予想図の精度は予想対象期間が先になるほど低下します。）：

5月：日本の北で平年より気圧が高い。カムチャツカ半島付近の偏差が大きく、オホーツク海高気圧が出現する時期がある見込み。また、上空の大気の流れ（図略）からは一時寒気の南下が予想される。このため、東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多く、低温傾向が予想される。晴れた朝はおそ霜のおそれがある。

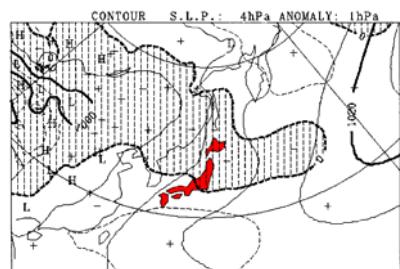
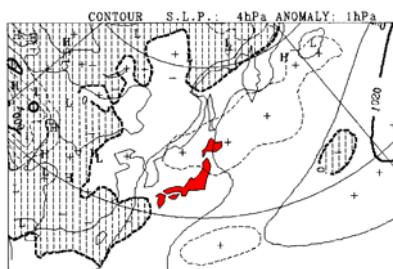
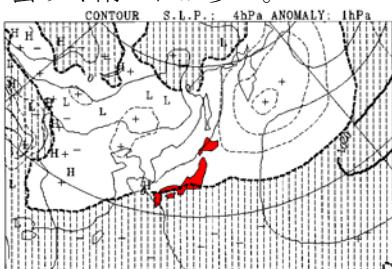
6月：日本付近は平年より気圧が高い。偏差の中心は日本海北部からカムチャツカ半島付近でオホーツク海高気圧が現れることがある見込み。また関東の東には前線に相当するくびれが見られる。東北地方は平年と同様に太平洋側を中心に天気がぐずつき、一時的に低温になることもある見込み。

7月：西日本以南は平年に比べ気圧が高く、太平洋高気圧の西への張り出しが強い。一方北日本は平年に比べ気圧が低い。梅雨前線は東北地方に停滞することが多く、東北地方は平年に比べて曇りや雨の日が多い。



3か月平均の500hPa高度と偏差の予想図

実線は等高度線：60m毎、点線は偏差：30m毎
陰影部は負偏差

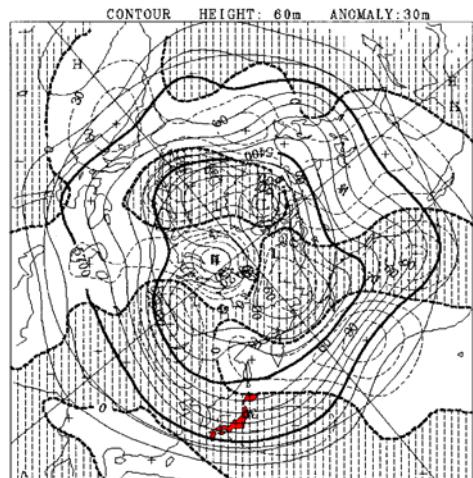


月別の地上気圧と偏差の予想図（左から 5月、6月、7月）

実線は等圧線：4hPa毎、点線は偏差：間隔 1hPa毎、陰影部は負偏差

2. 循環場の特徴

4月1~20日：500hPa高度では、日本付近は負偏差域、日本の北は正偏差域で等高度線が北にくびれています。このため日本付近は低気圧や寒気の影響を受けやすく、また北に偏った高気圧から湿った空気が入り込むこともあり、東北地方は天気がぐずつき、気温の低い日が多くなった。



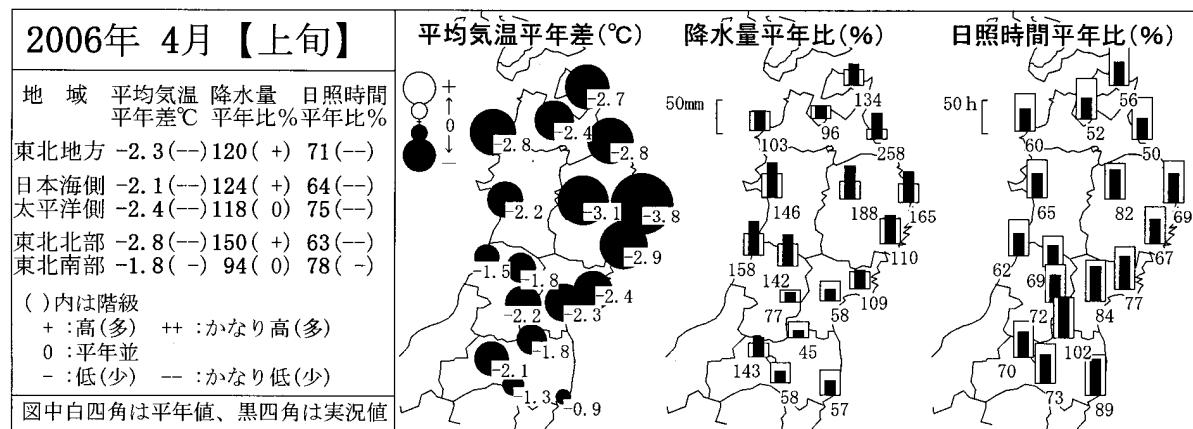
4月平均 500hPa高度（予想値を含む）

実線は等高度線：60m毎、点線は偏差：30m毎
陰影部は負偏差

3. 最近の天候経過

4月上旬：低気圧や寒気の影響で、気温の低い日が続き、天気のぐずつくことが多かった。

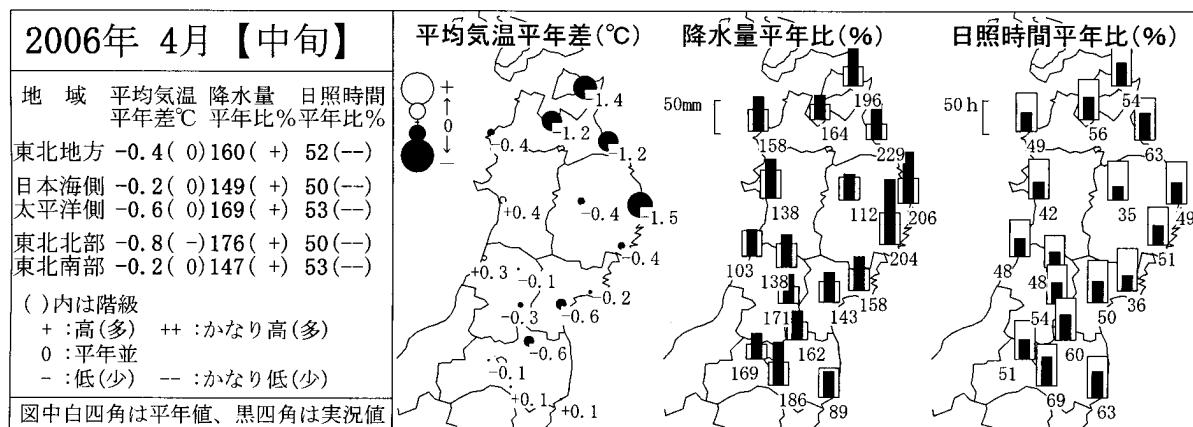
平均気温は東北北部でかなり低く、東北南部で低い。降水量は東北北部で多く、東北南部で平年並。日照時間は東北北部でかなり少なく、東北南部で少ない。



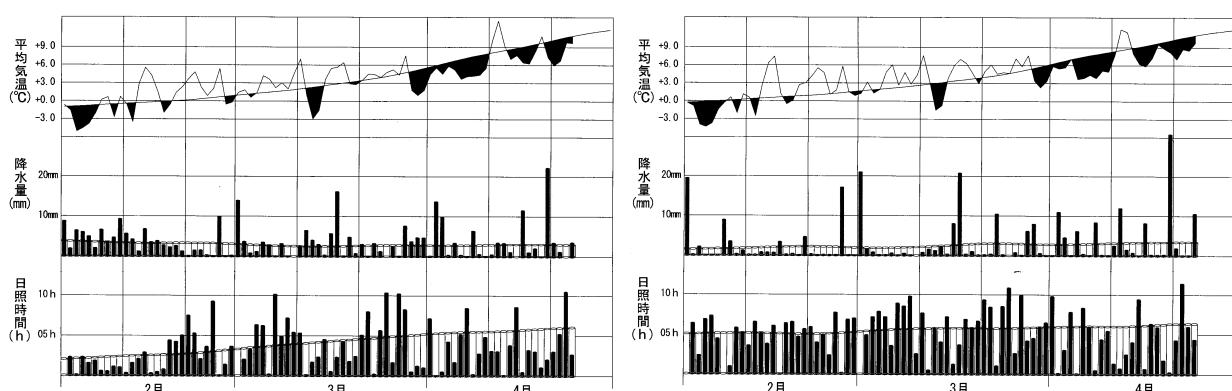
東北地方における4月上旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）

4月中旬：低気圧や前線が短い周期で通過した。また北に偏った高気圧からの湿った東風の影響を受けることもあり、ぐずついた天気となることが多かった。気温は、旬のはじめにかなり高い日があった他は、低めに経過した。17日と18日は低気圧の通過に伴い強風が吹き、列車の運行等に被害が出た。20日は低気圧に伴う前線が東北地方を通過し広範囲でまとまった雨が降り、寒気の影響で雪となったところもあった。

平均気温は東北北部で低く、東北南部で平年並。降水量は東北地方で多い。日照時間は東北地方でかなり少ない。



東北地方における4月中旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）



東北日本海側の日別経過図

東北太平洋側の日別経過図

気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

4. 太平洋赤道域の海水温等の状況、及びエルニーニョ現象等の今後の見通し

エルニーニョ監視速報 (No. 163) より抜粋。 (気象庁ホームページ: <http://www.jma.go.jp/>)

太平洋赤道域の海面水温は、中部から東部にかけて平年より低かった。海洋表層（海面から深度数百mまでの領域）の水温は、東部で負偏差、西部で正偏差が明瞭だった。太平洋赤道域の西部で対流活動が活発で、中部および西部の大気下層では東風偏差が持続した。この状態は、ラニーニャ現象時の特徴を呈している。

エルニーニョ監視海域の海面水温は春後半から夏にかけて基準値に近づき、その後基準値に近い値で推移すると予測される。現在のラニーニャ現象は予測期間中に終息する可能性が高い。

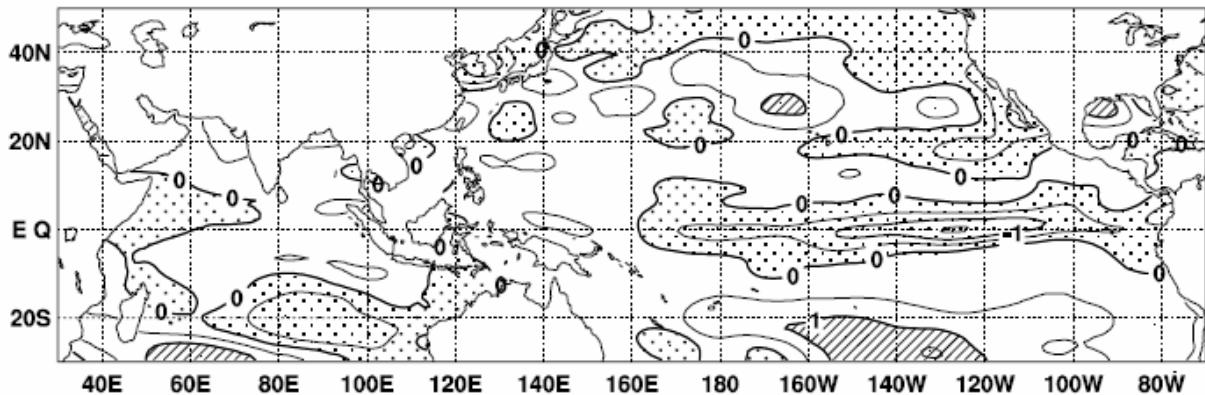


図 2006年3月の海面水温図平年偏差図。太線は1°C毎、細線は0.5°C毎の等値線を示す。濃い陰影部は海面水温が平年値より1°C以上高い領域を、淡い陰影部は平年値より低い領域を示す（平年値は1971～2000年の30年平均値）。

＜参考資料＞

①. 平年の天気出現日数（日）

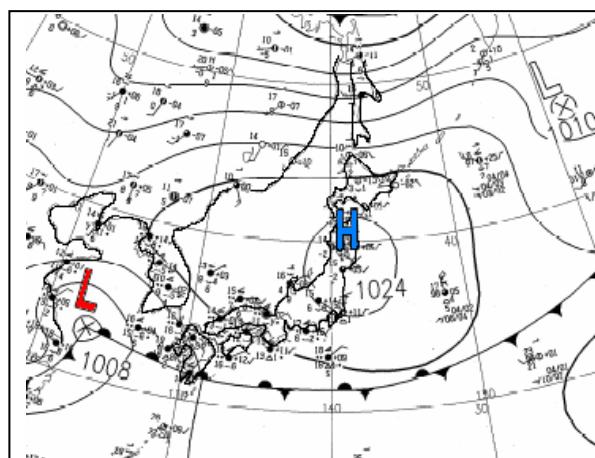
	5月		6月		7月	
	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側
晴れの日	17.6	17.7	14.3	12.0	14.6	12.6
雨の日	10.4	9.3	10.3	10.4	10.9	11.1

注：季節予報では、「日照率40%以上の日数」、「日降水量1mm以上の日数」をそれぞれ晴れの日、雨の日の目安として用いている。この2つの事象は同じ日に起こりうるため、両方に数えられる日もある。なお、日照率は1日の日照時間を可照時間（太陽の中心が東の地平線に現れてから西の地平線に没するまでの時間）で割った値である。

②. おぞ霜

よく晴れた、風の弱い朝は、地表の熱が奪われる放射冷却現象がおきて、気温がかなり下がり、霜の降りことがあります。

右図は1998年5月11日朝に岩手県で霜凍害が発生したときの地上天気図です。このように移動性高気圧に広く覆われるような日の朝は、放射冷却現象が起きやすいので霜凍害に注意が必要です。



1998年5月11日09時の地上天気図

図中のHは高気圧、Lは低気圧を表す。